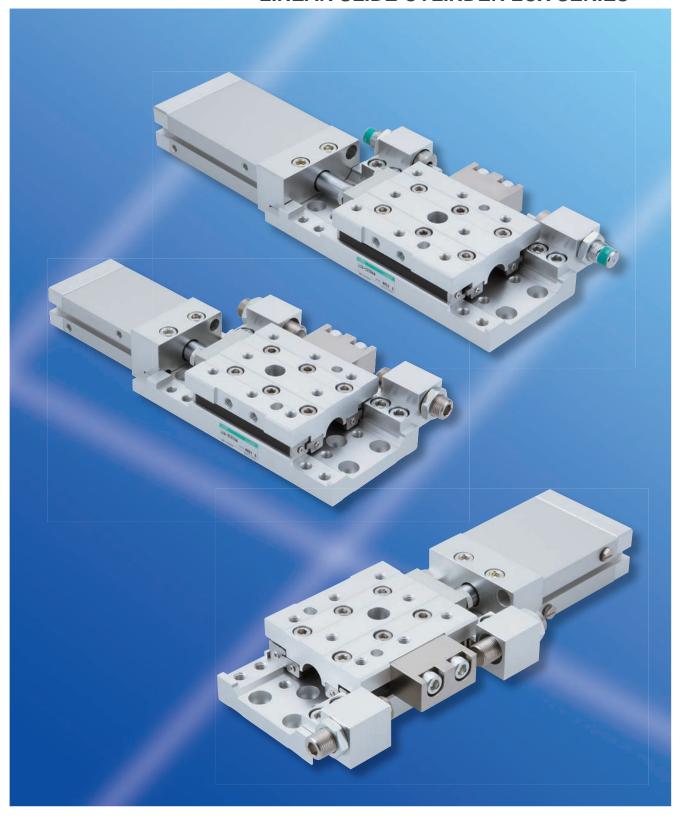


## リニアスライドシリンダ LCXシリーズ

## **LINEAR SLIDE CYLINDER LCX SERIES**



## 薄さ、軽さ、剛さ

## 3拍子揃えたリニアスライドシリンダ

狭いスペースでの位置決め、部品搬送等に最適で、多品種生産の効率化に貢献します。

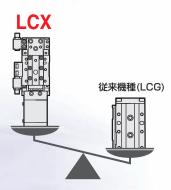


徹底した薄形化により、 従来機種(LCG)に比べ高さ寸法を60mm→34mmに半減! 省スペース用途に最適です。



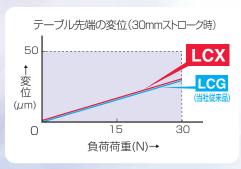
# 軽

従来機種(LCG)に比べ製品質量が半減! 可動部の軽量化が可能ですので タクトアップ、省エネに貢献します。



セパレート方式のリニアガイドを採用。 薄形・軽量ながら、 従来機種(LCG)と同等の剛性を実現しました。

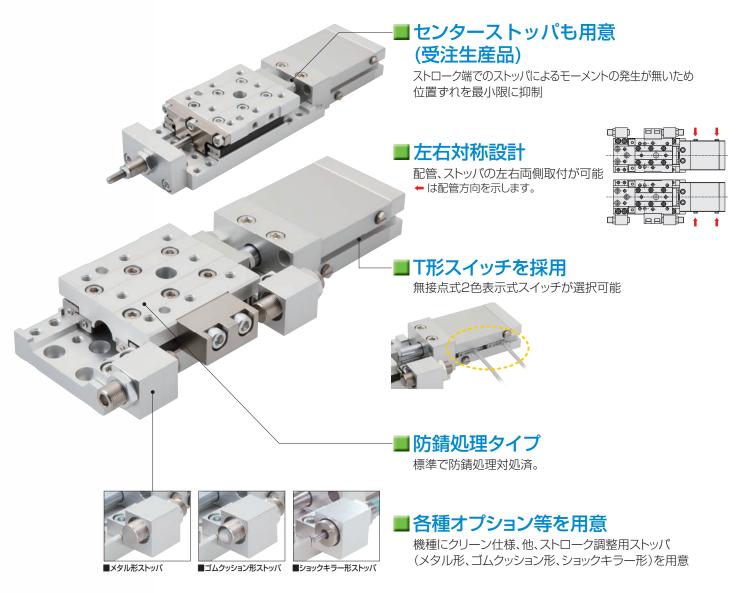




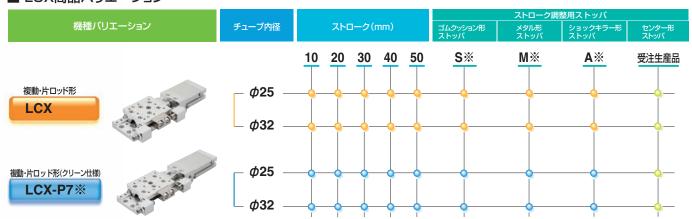
リニアスライドシリンダ



## ■ 様々なバリエーション



#### ■ LCX商品バリエーション



## 体系表

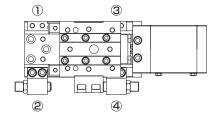
## リニアスライドシリンダ LCXシリーズ

## ●:標準 ◎:準標準 ○:受注生産 : 製作不可

								_		ਹਿਤ			<u> </u>		=135				_						. 2	-~ 1		, LJ
															オ	プミ	ノヨ	ン										
								ゴム	クッ	ショ	ン形	スト	ッパ	X	タル	ル形	ス	トッ	パ	ショ	ック	キラ	一形	スト	ッパ			
バリエーション	形 番 JIS記号	チューブ内径 (mm)	ス	<b>\</b> 0	<b>一</b> ク	<b>'</b> (m	m)	ストッパ位置 ①	ストッパ位置②	ストッパ位置 ③	ストッパ位置 ④	ストッパ位置 ①・③		ストッパ位置 ①	_	ストッパ位置 ③	_			ストッパ位置 ①		ストッパ位置 ③	ストッパ位置 ④	•	ストッパ位置 ②・④	ー形ストッ	チ	記載ページ
			10	20	30	40	50	S1	S2	S3	S4	S5	S6	M1	M2	МЗ	M4	M5	M6	A1	A2	A3	Α4	A5	A6	注1		
複動・片ロッド形	LCX	φ25·φ32	•	•	•	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
複動・片ロッド形クリーン仕様	LCX-P7*	φ25·φ32	•	•	•	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0	31

注1:センター形ストッパは受注生産品となります。詳細はお問い合わせください。

## ●ストッパ位置





## 本製品を安全にご使用いただくために

で使用になる前に必ずお読みください

当社製品を使用した装置を設計製作される場合には、装置の機械機構と空気圧制御回路または水制御回路と これらをコントロールする電気制御によって運転されるシステムの安全性が確保できる事をチェックして安全な 装置を製作する義務があります。

当社製品を安全にご使用いただくためには、製品の選定及び使用と取扱い、ならびに適切な保全管理が重要です。 装置の安全性確保のために、警告、注意事項を必ず守ってください。

なお、装置における安全性が確保できることをチェックして安全な装置を製作されるようにお願い申し上げます。



## ▲ 警告

- 本製品は、一般産業機械用装置・部品として設計、製造されたものです。 よって、取り扱いは充分な知識と経験を持った人が行ってください。
- **2** 製品の仕様範囲内でのご使用を必ずお守りください。

製品固有の仕様外での使用は出来ません。また、製品の改造や追加工は絶対に行わないでください。 なお、本製品は一般産業機械用装置・部品での使用を適用範囲としておりますので、屋外での使用、および次に示すよ

うな条件や環境で使用する場合には適用外とさせていただきます。 (ただし、ご採用に際し当社にご相談いただき、当社製品の仕様をご了解いただいた場合は適用となりますが、 万一故障があっても危険を回避する安全対策を講じてください。)

- ●原子力・鉄道・航空・船舶・車両・医療機械、飲料・食品などに直接触れる機器や用途、娯楽機器・緊急遮断回路・プレス機械・ブレーキ回路・安全対策用など、安全性が要求される用途への使用。
- ②人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用。
- **③ 装置設計・管理等に関わる安全性については、団体規格、法規等を必ずお守りください。**

ISO4414、JIS B 8370(空気圧システム通則) JFPS2008 (空気圧シリンダの選定及び使用の指針) 高圧ガス保安法、労働安全衛生法および その他の安全規則、団体規格、法規など。

- **4 安全を確認するまでは、本製品の取り扱いおよび配管・機器の取り外しを絶対に行わないでくだ** 
  - ●機械·装置の点検や整備は、本製品が関わる全てのシステムにおいて安全であることを確認してから行ってください。
  - ②運転停止時も、高温部や充電部が存在する可能性がありますので、注意して行ってください。
  - ③機器の点検や整備については、エネルギー源である供給空気や供給水、該当する設備の電源を遮断し、システム 内の圧縮空気は排気し、水漏れ・漏電に注意して行ってください。
  - Φ空気圧機器を使用した機械・装置を起動または再起動する場合、飛び出し防止処置等システムの安全が確保されて いるか確認し、注意して行ってください。
- **5** 事故防止のために必ず、次頁以降の警告及び注意事項をお守りください。
- ■ここに示した注意事項では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区別してあります。

▲ **危険**: 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ (DANGER) 危険発生時の緊急性(切迫の度合い)が高い限定的な場合。

、取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。 (WARNING)

↑ 注意: 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる (CAUTION) ことが想定される場合。

なお「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。 いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

#### ご注文に際しての注意事項

#### **1** 保証期間

当社製品の保証期間は、貴社のご指定場所への納入後1年間といたします。

#### 2 保証範囲

上記保証期間中に明らかに当社の責任と認められる故障を生じた場合、本製品の代替品または必要な交換部品の 無償提供、または当社工場での修理を無償で行わせていただきます。

ただし、次の項目に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- ①カタログまたは仕様書に記載されている以外の条件・環境での取扱いならびにご使用の場合
- ②故障の原因が本製品以外の事由による場合
- ③製品本来の使い方以外の使用による場合
- ④当社が関わっていない改造または修理が原因の場合
- ⑤納入当時に実用化されていた技術では予見できない事由に起因する場合
- ⑥天災、災害など当社の責でない原因による場合

なお、ここでいう保証は、納入品単体に関するものであり、納入品の不具合により誘発される損害については 除外させていただきます。

#### 3 適合性の確認

お客様が使用されるシステム、機械、装置への当社製品の適合性は、お客様自身の責任でご確認ください。



空気圧機器

## 本製品を安全にご使用いただくために

で使用になる前に必ずお読みください。 シリンダー般、シリンダスイッチについては空圧シリンダ総合(CB-029S)をご確認ください。

個別注意事項: 薄形リニアスライドシリンダ LCXシリーズ

## 設計時•選定時

## 1. 共通

## ▲注意

- ■シリンダの選定は15~18ページ「LCX選定ガイド」に従ってください。
- ■シリンダは水滴、油滴のかかる場所や、腐食の恐れがある場所、粉塵の多い場所では損傷、作動不良の原因となりますので、カバーなどで製品を保護してください。

#### ■スイッチ付の注意事項

●リード線ストレートタイプは30ストローク以下、リード線L字タイプは20ストローク以下のスイッチは本体両溝に1本ずつスイッチを取付けるため設計時にはリード線取り出し方向に注意してください。

- ■シリンダの周囲温度が5℃以下でご使用される場合は、供給圧力を0.5MPa以上でご使用ください。
- ■常時低温(5°C以下)、または高温(40°C以上)環境化でで使用する場合はご相談ください。
- ■ストローク調整機能を備えたストッパを3種類用意しております。
- ●ゴムクッション形ストッパ ウレタン製のクッションゴムを内蔵したストッパ。 停止位置を安定させるため、O.4MPa以上の圧力でメタ ルタッチするストッパも準備しておりますので、ご相談く ださい。
- ●メタル形ストッパ クッション機構がないため、軽負荷、低速時に使用してく ださい。ゴムクッションの変形による停止位置の変化があ りません。
- ●ショックキラー形ストッパ 高いエネルギ吸収能力を持ち、滑らかな停止をするととも に、メタルタッチにて停止位置が決まります。

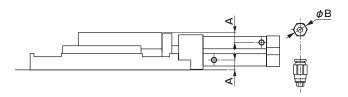
## 取付・据付・調整時

## 1. 共通;配管時

## ▲注意

■配管継手の注意事項

配管時は必ずスピードコントローラをつけてご使用 ください。また、使用可能な継手は以下のとおりで す。

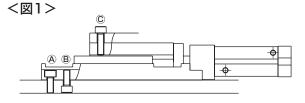


項目 チューブ \ 内径(mm)	ポート径	ポート 位置寸法 A	使用出来る継手	継手外径 B
φ25	M5	9.5	SC3W-M5-4 SC3W-M5-6 GWS4-M5-S GWS4-M5	φ17
φ32	IVIO	9	GWL4-M5 GWS6-M5-S GWS6-M5 GWL6-M5	以下

#### 2. 共通;据付時

#### ▲注意

- ■本製品は高精度な直線運動を得るため、ベースやテーブルの取付面は精密加工仕上げしています。したがって装置等の取付面の平面度を研削加工などによって高精度に仕上げることで、安定した高い精度が得られます。(推奨平面度:0.01mm以下)また、取付面の平面度を阻害するような打痕、キズなどを付けないようにしてください。
- ■テーブル、ベースへの治具取付時のボルトねじ込み 長さおよび締付トルクは以下の値を守ってくださ い。

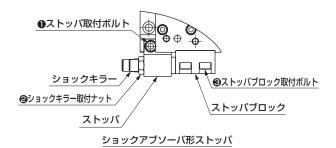


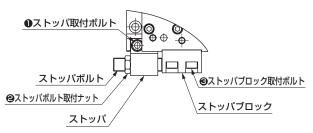
項目	A			В		G			
- 現日	使用ボルト	納が(N·m)	使用ボルト	新M/(N·m)	鉄ねじ込み長さ	使用ボルト	納ルク(N·m)	最大ねじ込み長さ	
LCX-25	M6	4.3~5.2	MEY10	13~52	Q 5mm	MEX10	13~52	11mm	
LCX-32	IVIO	4.0 °0.E	IVIO A 1.U	4.0 °0.E	ااااااد.ق	IVIU A I.U	4.0 °0.E		

## 取付・据付・調整時

■ストッパ部の各ボルト、ナットの締付トルクは以下 の値を守ってください。

<図A>

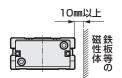




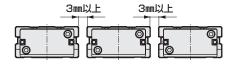
ゴムクッション形、メタル形ストッパ

項目	●ストッパ取付ボルト	②ストッパボルト取付ナット  ②ショックキラー取付ナット	❸ストッパブロック取付ボルト
	(N • m)	(N • m)	(N • m)
LCX-25	4.3~5.2	4.5~6.0	4.3~5.2
LCX-32	4.5~5.2	4.5~6.0	4.3~5.2

■シリンダスイッチの近くに鉄板等の磁性体がある場合は、誤作動する恐れがあります。シリンダ表面から10mm以上離していただくか、或いは、シリンダスイッチの取付面を変更いただくことで安全にご使用いただけます。(全口径共通)



■シリンダが隣接する場合は、シリンダスイッチが誤作動する恐れがあります。シリンダ表面より下記の 距離をとってください。(全口径共通)



- ■弊社のショックキラーは消耗部品として取り扱ってください。
  - エネルギー吸収能力の低下がみられた場合や、作動 が円滑ではなくなった時に交換をしてください。
- ■位置決め穴を使用する場合は、圧入にならない寸法 のピンを使用してください。圧入寸法のピンを使用 すると圧入荷重によるリニアガイド部の損傷や歪み による精度低下の恐れがあります。
  - ピンの推奨公差は、JIS公差m6以下です。

## 使用・メンテナンス時

## 1. 共通

#### ▲注意

■ガイド部は、6カ月または作動回数100万回の早い 方を目安としてガイドレール軌道面にAFFグリース(THK(株)製)を塗布してください。



## リニアスライドシリンダ 複動・片ロッド形

## **LCX** Series

●チューブ内径: φ25・φ32

JIS 記号





## 仕様

項目	L	CX				
チューブ内径	nm φ25	φ32				
作動方式	裆	夏動形				
使用流体	圧	縮空気				
最高使用圧力 MF	Pa	0.7				
最低使用圧力 MF	Pa (	0.15				
保証耐圧力 MF	a	1.0				
周囲温度	C -10~60 (但し、)	東結なきこと)(注1)				
接続口径		M5				
ストローク許容差	+2.0 O	〕 (注2)				
使用ピストン速度 mm.	′s 20~5	00 (注3)				
クッション	ゴムク	ッション付				
給油		不可				
許容吸収エネルギー	」 16ページの表3	をご参照ください。				

注1:常時低温(5°C以下)、または高温(40°C以上)環境化でご使用する場合はご相談ください。

注2:ストッパなしで使用の場合、エンドブレートとフローティングブシュの間にわずかな隙間がありますのでご注意ください。注3:メタル形ストッパ使用時は、20~200m/sでご使用ください。

## ストローク

チューブ内径(mm)	標準ストローク(㎜)
φ25	10、20、30、40、50
φ32	10、20、30、40、50

注:上記のストローク以外は製作できません。

## スイッチ仕様

※TO/T5スイッチはAC220Vも使用可能です。

1色/2色表示式 使用条件はお問い合せください。

項目		有接点	2線式		無接点	2線式	無接点3線式			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	TOH • TOV		T5H • T5V		T2H • T2V	T2WH • T2WV	T3H · T3V	T3WH • T3WV		
用途	プログラマブル		プログラマブルコントローラ、リレー		プログラマブル		プログラマブル			
用逐	コントローラ、リレー用		IC回路(ランプなし)、直列接続用		コントローラ専用		コントローラ、リレー用			
出力方式	_		_		_		NPN出力			
電源電圧	_		_		_		DC10~28V			
負荷電圧	DC12/24V	AC110V	DC5/12/24V	AC110V	DC10~30V	DC24V±10%	DC30	)V以下		
負荷電流	5~50mA	7~20mA	50mA以下	20mA以下	5~2	OmA	100mA以下	50mA以下		
	<b>☆</b> 北 <i>汗</i> ⊿	/ <b>+</b> _ K			発光ダイオード	赤色/緑色	発光ダイオード	赤色/緑色		
ランプ	ジプ (ON時点灯)		ランフ	プなし	・ ・ ・ (ON時点灯)	発光ダイオード	、 (ON時点灯)	発光ダイオード		
					(UNHHINI)	(ON時点灯)	(()()()()()()()()()()()()()()()()()()(	(ON時点灯)		
漏れ電流		On		nA		1mA以下		10µA以下		

## シリンダ質量

●基本形 (単位:g)

· · · ·									
チューブ内径		基本形 ストローク (mm)							
(mm)	10	20	30	40	50				
φ25	980	1,010	1,030	1,150	1,170				
φ32	1,000	1,030	1,050	1,180	1,200				

●オプション増加分 (単位:g)

チューブ内径	オプション・ストッパ記号						
(mm)	S1~S4	M1~M4	A1~A4	S5 · S6	M5 • M6	A5 • A6	
φ25		170			240		
φ32		170			240		

## 二次電池対応仕様

LCX - ··· - (P4%)

■ 二次電池製造工程で使用できる 構造です。

※詳細はお問い合わせください。

#### 形番表示方法







●スイッチ形番

記号 内容 ◆チューブ内径 25 φ25 32 φ32

■ストローク(mm) 10 10 20 20 30 30 40 40 50 50

<b>ルスイ</b>	ッチ形番					
リード線ストレート タイプ	リード線L字 タイプ	接点	表示	リード線		
TOH*	TOV*	有接点	1色表示式	Oéé		
T5H*	T5V%	月按点	ランプなし	2線		
T2H*	T2V*		1色表示式	2線		
тзн*	T3V%	無	1 巴茲小氏	3線		
T2WH%	T2WV%	無接点	2色表示式	2線		
T3WH%	T3WV%	****	2巴茲小氏	3線		
※リート	ぶ線長さ					
無記号	1m(標	準)				
3	3m (オプション)					
5	5m (オ	プション)				

注1:ストローク調整範囲を変更する場合は、5ページ ゴムクッション形ストッパ・メタル形ストッパ単 品をご使用ください。

▲ 形番選定にあたっての注意事項

注2:ショックキラー形ストッパ使用時のストローク調 整範囲は、10ページストッパ外形図の寸法表を 参照ください。

注3:メタル形ストッパ使用時は、ストッパブロック材 質合金銅(記号:T)を推奨します。

注4:ゴムクッション形ストッパ、メタル形ストッパと ショックキラー形ストッパを組合せて使用する場 合は受注生産となります。

注5:メタル形ストッパの場合、20~200mm/sでご 使用ください。

注6:ストッパタイプ使用時のみ選択できます。

注7:10ストロークの場合、A5%、A6%は選択出来 ません。

#### 〈形番表示例〉

#### LCX-25-40-T2H-R-A1T

機種: 薄型リニアスライドシリンダ 複動・片ロッド形 LCX

₫ チューブ内径 : φ25 ■ ストローク : 40mm

● スイッチ形番 :無接点・2線式

リード線ストレートタイプ ローブ

● スイッチ数 :ロッド側1個付 む その他オプション:ショックキラー形ストッパ

ストッパ位置① 材質、合金鋼(窒化処理)

#### ₩オプション

●ストッパ位置

3

●スイッチ数

## **ポオプション**

D

■スイッチ数

2個付

ロッド側1個付 ヘッド側1個付

#### 無記号 オプションなし 注1、注4 ゴムクッション形ストッパ S1※ ストッパ位置①(④へ変更可) S2※ ストッパ位置② (③へ変更可)

. ツ

パ取

付位

置

置

\*\*\* \*\*\* \*\*\*

S3※ ストッパ位置③ (②へ変更可) S4※ ストッパ位置④ (①へ変更可) S5※ ストッパ位置①、③

S6※ ストッパ位置②、④ **メカル取っ トッパ** 

	アルルストッハ	(注し、	注つ、	注4、	注
M1%	ストッパ位置①	(④へ変更可)			ス
M2%	ストッパ位置②	(③へ変更可)			<b>□ ド</b>
M3%	ストッパ位置③	(②へ変更可)			ヿ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヿ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙
M4%	ストッパ位置④	(①へ変更可)			取
M5*	ストッパ位置①	. 3			一付

M6※ ストッパ位置②、④ **A** ショックキラー形ストッパ 注2、注4、 注7 A1※ ストッパ位置①(④へ変更可)

トッ A2※ ストッパ位置②(③へ変更可) A3※ ストッパ位置③(②へ変更可) 取 **A4**※ ストッパ位置④(①へ変更可) 行位 **A5**※ ストッパ位置①、③ 置 A6※ ストッパ位置②、④

無記号 ストッパブロック材質:圧延鋼 ストッパブロック材質:合金鋼(窒化処理)注6

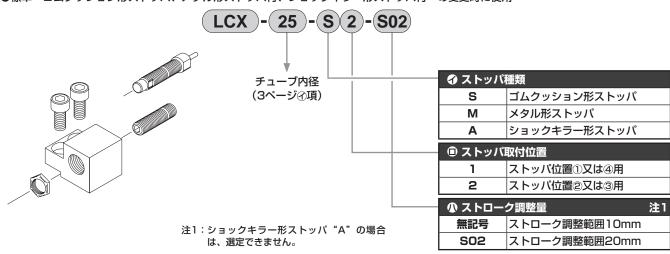
※部

## スイッチ単品形番表示方法



## ストッパセット形番表示方法

- ●ストッパ部とゴムクッション形ストッパ、メタル形ストッパまたはショックキラー形ストッパのセット
- ●標準→ゴムクッション形ストッパ、メタル形ストッパ付、ショックキラー形ストッパ付への変更時に使用



## LCX Series

## ゴムクッション形ストッパ単品形番表示方法

- ●ウレタン付六角穴付止めねじ
- ●ストローク調整範囲の変更時または中間ストローク設定時に使用



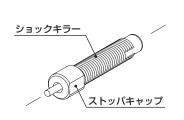
### メタル形ストッパ単品形番表示方法

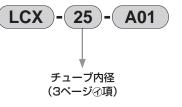
●ストローク調整範囲の変更時または中間ストローク設定時に使用



## ショックキラー形ストッパ単品形番表示方法

- ●ショックキラーとストッパキャップのセット
- ●ゴムクッション形、メタル形ストッパからショックキラー形ストッパへの変更時に使用





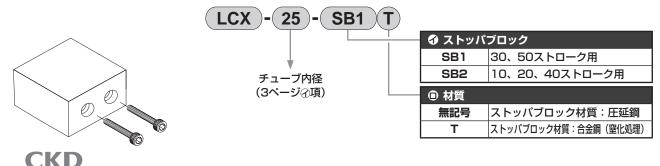
注:ショックキラー形ストッパのストローク調整範囲は、10ページをご参照ください。

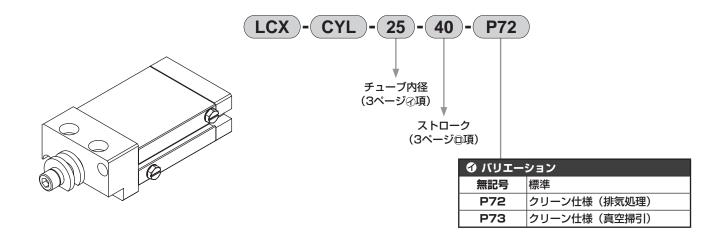
#### 使用ショックキラー形番

機種	ショックキラー形番
LCX-25	NCK-00-1.2
LCX-32	NCK-00-1.2

## ストッパブロック単品形番表示

●標準→ゴムクッション形、メタル形ストッパ付、ショックキラー形ストッパ付への変更時に使用

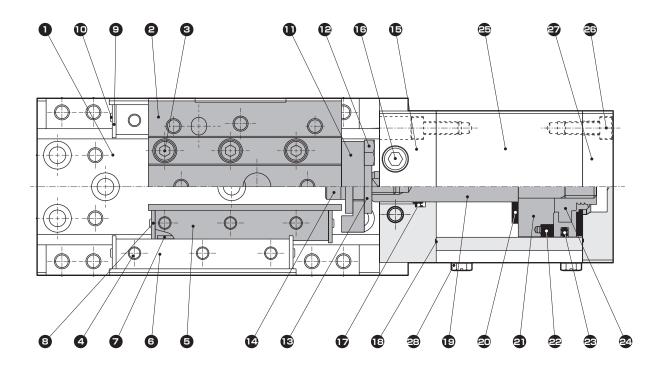






## 内部構造および部品リスト

## ●LCX



## 部品リスト

品番	部品名称	材質	備考	番品	部品名称	材質	備考
1	ベース	アルミニウム合金	アルマイト	15	ロッドカバー	アルミニウム合金	アルマイト
2	テーブル	アルミニウム合金	アルマイト	16	六角穴付ボルト	合金鋼	亜鉛クロメート
3	六角穴付ボルト	ステンレス鋼		17	ロッドパッキン	ニトリルゴム	
4	六角穴付ボルト	ステンレス鋼		18	ガスケット	ニトリルゴム	
5	ガイドレール(1)	合金鋼	黒クロム皮膜	19	ピストンロッド	合金鋼	工業用クロムメッキ
6	ガイドレール(2)	合金鋼	黒クロム皮膜	20	クッションゴム	ウレタンゴム	
7	ケージ	樹脂		21	スペーサ	アルミニウム合金	
8	ストッパ(1)	ステンレス鋼		22	磁石	プラスチック	
9	ストッパ(2)	ステンレス鋼		23	ピストンパッキン	ニトリルゴム	
10	十字穴付なべ小ねじ	ステンレス鋼		24	ピストン	アルミニウム合金+ポリアセタール	
11	プレート	アルミニウム合金	アルマイト	25	シリンダ本体	アルミニウム合金	硬質アルマイト
12	六角ボルト	ステンレス鋼		26	六角穴付ボルト	合金鋼	亜鉛クロメート
13	フローティングブッシュ	ステンレス鋼		27	ヘッドカバー	アルミニウム合金	アルマイト
14	六角穴付ボルト	合金鋼	亜鉛クロメート	28	プラグ	黄銅	ニッケルメッキ

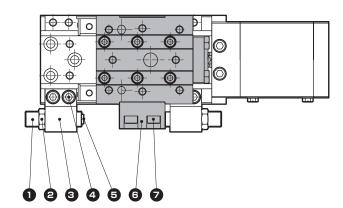
## 消耗部品リスト

,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
チューブ内径 (mm)	キット番号	消耗部品番号
φ25	LCX-25K	<b>1 1 1</b>
φ32	LCX-32K	2023

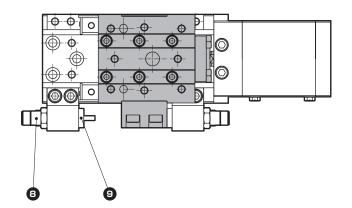
## 内部構造および部品リスト

## ストッパ付構造図

●ゴムクッション形ストッパ、メタル形ストッパ



●ショックキラ一形ストッパ



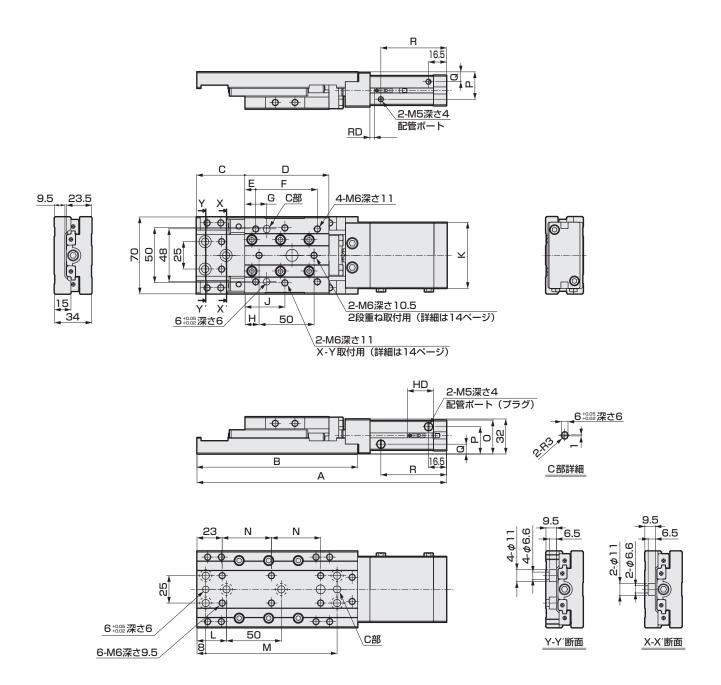
## 部品リスト

品番	部品名称	材質	備考	番品	部品名称	材質	備考
1	ストッパボルト	合金鋼	ニッケルメッキ		ストッパブロック	錙	ニッケルメッキ
2	六角ナット	合金鋼	亜鉛クロメート	6	(ストッパブロック記号:無記号)		
3	ストッパ	アルミニウム合金	アルマイト		ストッパブロック	合金鋼	窒化処理
4	六角穴付ボルト	合金鋼	亜鉛クロメート		(ストッパブロック記号:T)		
5	クッションゴム	ウレタンゴム	クッションゴム形ストッパのみ	7	六角穴付ボルト	合金鋼	亜鉛クロメート
				8	ショックキラー		
				9	ストップキャップ	ステンレス鋼	



## 外形寸法図

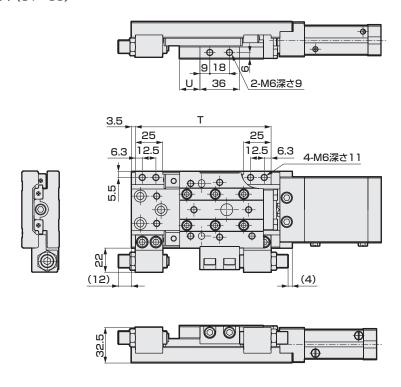
● LCX-25、32



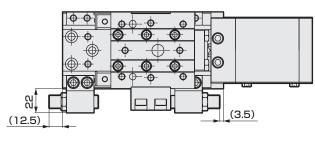
																				RD		HD					
チューブ内径	ストローク	Α	В	С	D	E	F	G	Н	J	K	L	М	N	0	Р	Q	R	TO%	T2%	T2W%	T0% T2%	T2W%				
																			T5%	T3%	T3W%	T5% T3%	T3W%				
	10	208		34														40	_								
	20	218	147	39	76.5	10	56	20	13	36.5		27	120	45				50									
φ25	30	228		44							50				29.5	24.5	9.5	60									
	40	258	167	49	86.5	86.5	865 15	86.5	86.5 15	15 6	64	64 30	30 23	23 46.5		41	140	55				70					
	50	268	107	54	80.5	15	04	30	23	40.5		41	140	55				80	] ,	5	6.5	23.5	21.5				
	10	208		34													4	40		,	0.5	23.5	21.5				
	20	218	147	39	76.5	10	56	20	13	36.5		27	120	45				50									
φ32	30	228		44							60				31 2	25	9	60									
	40	258	167	49	86.5	15	64	30	23	46.5		41	140	55				70									
	50	268	107	54	55.5	10	04	30	23	40.0		+ 1	140	55				80									

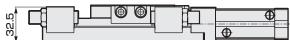
## 外形寸法図:オプション

#### ● ゴムクッション形ストッパ (S1~S6)

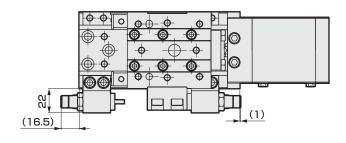


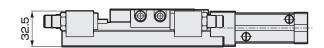
#### ● メタル形ストッパ (M1~M6)





#### ● ショックキラー形ストッパ (A1~A6)





チューブ内径	フトローク	т	u		-ク調整範囲		
テューン内住	ストローク	'	٦	ゴムクッション形ストッパ	メタル形ストッパ	ショックキラー形ストッパ	
	10			5	5	1	
	20	124	18.5				
φ25	30			10	10	7	
	40	144	28.5	10	10	/	
	50	144	20.5				
	10			5	5	1	
	20	124	18.5				
φ32	30			10	10	7	
	40	144	28.5	10	10	/	
	50	144	20.5				



リニアスライドシリンダ 複動・片ロッド形 クリーン仕様

## LCX-P7% Series

●チューブ内径: φ25・φ32

JIS記号





## 仕様

項目	LCX-	-P7 <b>%</b>
チューブ内径 mm	φ25	φ32
作動方式	複動	動形
使用流体	圧縮	空気
最高使用圧力 MPa	0	.7
最低使用圧力 MPa	0.	15
保証耐圧力 MPa	1.	.0
周囲温度 ℃	-10~60(但し、凍	結なきこと)(注1)
接続口径	M	15
リリーフポート接続口径	M	15
ストローク許容差 mm	+2.0 0	(注2)
使用ピストン速度 mm/s	20~500	0 (注3)
クッション	ゴムクッ	ション付
給油	不	可
許容吸収エネルギー J	16ページの表3を	で参照ください。

注1:常時低温(5℃以下)、または高温(40℃以上)環境化でご使用する場合はご相談ください。

注2:ストッパなしで使用の場合、エンドブレートとフローティングブシュの間にわずかな隙間がありますのでご注意ください。注3:メタル形ストッパ使用時は、20~200mm/sでご使用ください。

#### ストローク

チューブ内径 (mm)	標準ストローク(mm)
φ25	10、20、30、40、50
φ32	10、20、30、40、50

注:上記のストローク以外は製作できません。

## スイッチ仕様

※TO/T5スイッチはAC220Vも使用可能です。

●1色/2色表示式 使用条件はお問い合せください。

項目		有接点	[2線式		無接点	2線式	無接点	3線式
块 口	TOH ·	TOV	T5H ·	• T5V	T2H • T2V	T2WH • T2WV	T3H · T3V	T3WH • T3WV
用途	プログラ	ラマブル	プログラマブルコントローラ、リレー		プログラマブル		プログラマブル	
<b>用 返</b>	コントローラ	り、リレー用	IC回路(ランプな	し)、直列接続用	コントロ	一ラ専用	コントロー	ラ、リレー用
出力方式	_	-	-	_	-	_	NPN出力	
電源電圧	_	-	-	_	-	_	DC10	~28V
負荷電圧	DC12/24V	AC110V	DC5/12/24V	AC110V	DC10~30V	DC24V±10%	DC3C	)V以下
負荷電流	5~50mA	7~20mA	50mA以下	20mA以下	5~2	OmA	100mA以下	50mA以下
	発光ダイ	/ <b>+</b> _ K			発光ダイオード	赤色/緑色	発光ダイオード	赤色/緑色
ランプ	光ルタイ (ON時	- •	ランフ	プなし	1	発光ダイオード	、 (ON時点灯)	発光ダイオード
	(OIAh	ואאו	(ON時点灯) (ON時点灯) (ON時		((以此所以)	(ON時点灯)		
漏れ電流		On	nA		1mA	以下	10μ.	A以下

## シリンダ質量

●クリーン仕様

(単位:g)

チューブ内径		基本	形 ストローク形(	mm)	
(mm)	10	20	30	40	50
φ25	1,010	1,040	1,060	1,180	1,200
φ32	1,060	1,090	1,110	1,240	1,260

●バリエーション・オプション(ストッパ部)増加分

(単位:g)

サハシエ フョン・オン	ノコン (ハーノハロ) ギ	目がれて		( <del>+</del> 111 · 6)
チューブ内径		オプション・	ストッパ記号	
(mm)	S1~S4	M1~M4	S5 • S6	M5 • M6
φ25	1-	70	24	10
φ32	] ''	70		+0

#### 形番表示方法







S5)-(P72)

#### ⚠スイッチ形番

<b>ゆ</b> スイ	ッチ形番				
リード線ストレート タイプ	リード線L字 タイプ	接点	表示	リード線	
TOH*	TOH*	有接点	1色表示式	2線	
T5H%	T5H%	有按点	ランプなし		
<b>T2H</b> %	<b>T2H</b> %		1色表示式	2線	
ТЗН※	ТЗН%	無接点	「巴茲小氏	3線	
T2WH%	T2WH%	点	2色表示式	2線	
T3WH%	T3WH%		2巴茲小式	3線	
※リート	ヾ線長さ				
無記号	1m (標	準)			
3	3m (オ	プション)			
5	5m (オ	プション)			

## ●スイッチ数

#### ●スイッチ数 R ロッド側1個付 |ヘッド側1個付 D 2個付

## ▲ 形番選定にあたっての注意事項

- 注1:ストローク調整範囲を変更する場合は、5ページ ゴムクッション形ストッパ・メタル形ストッパ単 品をご使用ください。
- 注2:ストッパタイプ使用時のみ選択できます。
- 注3:メタル形ストッパ使用時は、ストッパブロック材 質合金銅(記号:T)を推奨します。
- 注4: ゴムクッション形ストッパとメタル形ストッパを 組合せて使用する場合は受注生産となります。
- 注5:メタル形ストッパの場合、20~200mm/sでご 使用ください。
- 注6:シリンダ単品形番については6ページをご参照く ださい。

#### 〈形番表示例〉

#### LCX-25-40-T2H%-R-S1T-P72

機種: 薄型リニアスライドシリンダ 複動・片ロッド形(クリーン仕様) LCX-P7%

: φ25 ■ ストローク : 40mm

♪ スイッチ形番 :無接点・2線式

リード線ストレートタイプ

● スイッチ数 :ロッド側1個付

₲ その他オプション:ゴムクッション形ストッパ

ストッパ位置① 材質、合金鋼 (窒化処理)

◇ クリーン仕様:排気処理

#### ₲オプション

#### 無記号 オプションなし

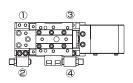
S ゴムクッション形ストッパ

**ポオプション** 

	<del></del>	<u> </u>
S1%	ストッパ位置①(④へ変更可)	ス
S2%	ストッパ位置②(③へ変更可)	ートッ
<b>S3</b> %	ストッパ位置③(②へ変更可)	ヿ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚
S4*	ストッパ位置④(①へ変更可)	取
S5%	ストッパ位置①、③	□取付 □付位置
S6*	ストッパ位置②、④	置
M ×5	タル形ストッパ 注1、注3、注4、	注5
	タル形ストッパ注1、注3、注4、ストッパ位置①(④へ変更可)	ス
M1%		スト
M1 % M2 %	ストッパ位置①(④へ変更可)	ス
M1 % M2 %	ストッパ位置① (④へ変更可) ストッパ位置② (③へ変更可)	ストッパ
M1 % M2 % M3 %	ストッパ位置①(④へ変更可) ストッパ位置②(③へ変更可) ストッパ位置③(②へ変更可)	スト

**◇**クリーン仕様 M6※ ストッパ位置②、④

●ストッパ位置



## ※部 無記号 ストッパブロック材質:圧延鋼

ストッパブロック材質:合金鋼(窒化処理)注2

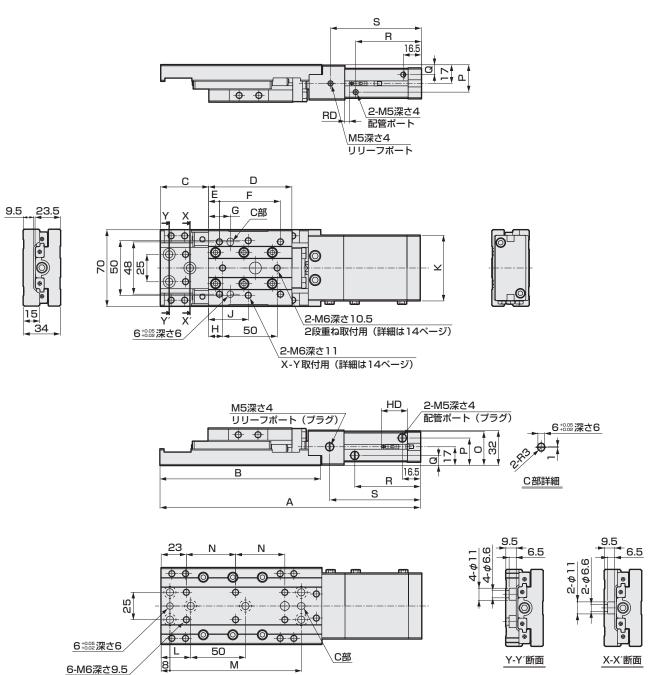
⊘クリ	ーン仕様	
	構	造
P72	排気処理	
P73	真空掃引	

注1、注4

## LCX-P7 % Series

## 外形寸法図

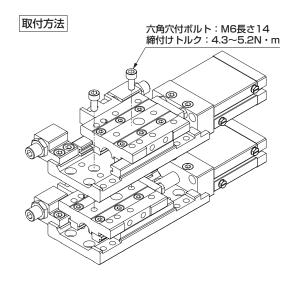
● LCX-25、32-P7※



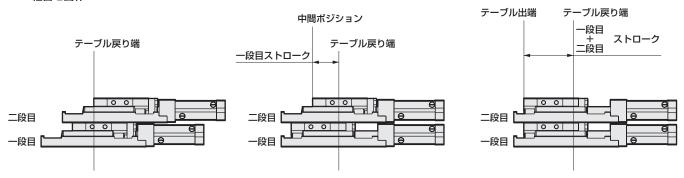
																				RD		HD	
チューブ内径	ストローク	A	В	С	ם	E	F	G	н	J	К	L	М	N	0	Р	Q	R	S	T0% T2%	T2W%	T0% T2%	12W%
																				T5% T3%	T3W*	T5% T3%	₹ T3W%
	10	218		34														40	63				
	20	228	147	39	76.5	10	56	20	13	36.5		27	120	45				50	73				
φ25	30	238		44							50				29.5	24.5	9.5	60	83				
	40	268	167	49	86.5	15	64	30	23	46.5		41	140	55				70	93				
	50	278	107	54	00.5	15	04	30	23	40.5		41	140	55				80	103	5	6.5	23.5	21.5
	10	218		34														40	63	5	0.5	23.5	21.5
	20	228	147	39	76.5	10	56	6 20 13 36	13 36.5	36.5	27	27 120 4	45				50	73	l				
φ32	30	238		44							60				31	25	9	60	83				
	40	268	167	49	86.5	15	64	30	23 4	40.5		41 140	40 55				70	93					
	50	278	107	54	00.0	15	04	30	23	40.5		41	140	55				80	103				

## 組合せ事例

#### ● 二段重ね取付

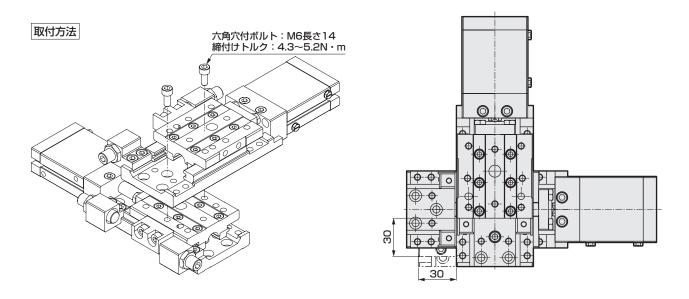


#### <組合せ動作>



## ● X-Y取付

 $\lceil \phi 32-30st \rfloor \times \lceil \phi 32-30st \rfloor$ 



## STEP-1

## 負荷率を確認し、チューブ内径を確定します。

 $\alpha = \frac{F_0}{F} \times 100 \text{ [\%]}$ 

α :負荷率

Fo : ワークを移動させるのに

必要な力(N)

F :シリンダ理論推力(N)

[表1]

水平作動時	垂直作動時				
Fo = Fw	Fo = W+FW				
FIM + IM + O O · (AI)					

FW: W×0.2<sub>注</sub>(N) W:荷重(N)

注:摩擦係数

#### [表1] 理論推力表

使用圧力MPa チューブ内径 作動方向 0.15 0.2 0.3 0.4 0.6 0.7 0.5 PUSH 74 99 148 197 246 345 296 φ25相当 **PULL** 57 76 114 152 190 228 266 PUSH 116 155 233 310 388 466 543 φ32相当 PULL 99 133 199 265 332 398 464

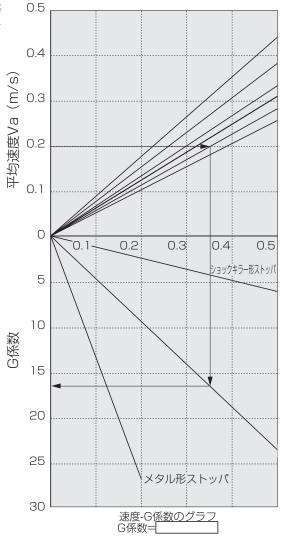
#### [表2] 負荷率の目安

<i>α</i> ≦40
α≦50
α≦60

## STEP-2

## ストローク端速度(Vm)とG係数を求めます。

平均速度(Va)とSTEP-1で求めた負荷率より、ストローク端速度(Vm)とG係数を求めます。



負荷率10% 負荷率20%

負荷率30% 負荷率40%

負荷率40% 負荷率50% 負荷率60%

ストローク端速度Vm

図中の矢印 (→) は 平均速度: 0.20m/s

負荷率 : 50% における

ストローク端速度: 0.35m/s

(単位:N)

G係数 : 16.8 を求める例を示します。

標準形ゴムクッション形ストッパ

## STEP-3

許容吸収エネルギーを確認します。

E : ワーク終端での運動エネルギー (J)

 $E = \frac{1}{2} \times (m + m_{\alpha}) \times Vm^{2}$  m : 負荷の質量 (kg)  $(m = \frac{W(N)}{9.8})$ 

mα : テーブルの質量 (表4より)Vm : ストローク端速度 (m/s)

**E max**: Eoの最大許容値(表3より)

[表3] LCXの許容吸収エネルギー(Eo)

チューブ内径	標準形 (J)	ゴムクッション形ストッパ <b>(し)</b>	メタル形ストッパ <b>(し)</b>	ショックキラー版ストッパ <b>(し)</b>	
φ25	0.34	0.14	0.07	1.3	
φ32	0.34	0.14	0.07	1.3	

[表4] テーブル質量

(単位:kg)

チョーブ内容	ストローク (mm)								
チューブ内径	10	20	30	40	50				
φ25		0.030	0.035						
φ32		0.030	0.035						

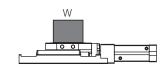
## E ≦ E max であることを確認します。

## STEP-4

静止時のモーメントの合成M'Tを確認します。

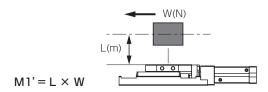
ストローク端で発生する静的な荷重(モーメント)や衝撃モーメントを求め、静止時のモーメントの合成M' Tを確認します。

## ●垂直荷重:W'(N)

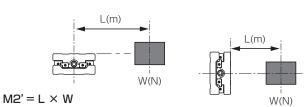


W' = W

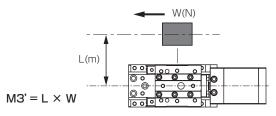
#### ●曲げモーメント: M1'(N·m)



#### ●横曲げモーメント: M2'(N・m)







 $M'T = \frac{W'}{W' \max} + \frac{M1' \times G}{M1' \max} + \frac{M2'}{M2' \max} + \frac{M3' \times G}{M3' \max} = \boxed{$ 

**M'T** : モーメントの合成

**G** : G係数

**W' max** : W' の最大許容値(表5より)

**M1'max** : M1'の最大許容値(表5より)

**M2' max** : M2'の最大許容値(表5より)

**M3' max** : M3' の最大許容値(表5より)

#### [表5] 静止荷重許容值

チューブ内径	垂直荷重 W'max(N)	曲げモーメント M1'max (N・m)	横曲げモーメント M2'max(N・m)	捩りモーメント M3'max (N・m)
φ25	670	52	110	52
φ32	670	52	110	J2

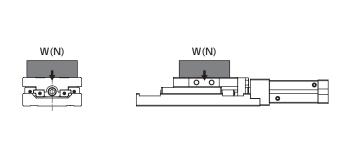


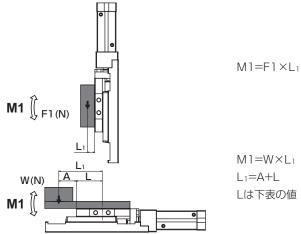
## STEP-5

走行時のモーメントの合成MTを確認します。(STEP-4で求めたものとは異なりますので注意してください。)

## ●垂直荷重:W(N)

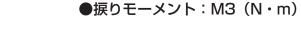


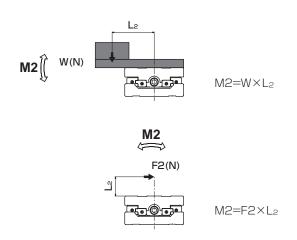


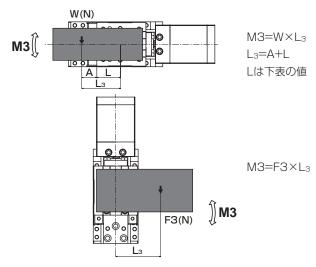


●曲げモーメント: M1 (N·m)

## ●横曲げモーメント: M2(N·m)







Lの値					単位(m)			
チューブ内径	ストローク							
ナューノ内住	10	20	30	40	50			
φ25		0.037		0.0	142			
φ32		0.037		0.0	46			

**M**T : モーメントの合成

**Wmax** : Wの最大許容値(表7より)

**M1max**:M1の最大許容値(表7より)

**M2max**: M2の最大許容値(表7より) **M3max**: M3の最大許容値(表7より)

#### [表7] 走行荷重許容値

チューブ内径	垂直荷重 Wmax(N)	曲げモーメント M1max(N・m)	横曲げモーメント M2max(N・m)	捩りモーメント M3max(N・m)
φ25	97	7	15	7
φ32	97	/	15	<b>'</b>

MT≦1であれば使用可能となります。

## 技術資料テーブル端での変位(参考値)

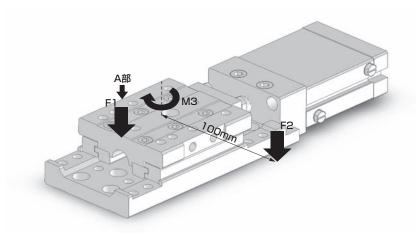
## A点での変位

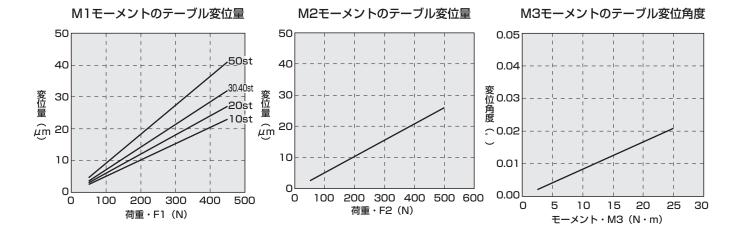
## 【M1、M2、M3モーメントによるテーブル変位量】

M1モーメント: テーブル先端に荷重(F1)を作用させた時のテーブル先端での変位量

M2モーメント: シリンダ中心から100mm離れた位置に荷重(F2)を作用させた時のテーブル端(A部)の変位量

M3モーメント: シリンダに回転モーメント (M3) を加えた時のテーブルの変位角度





## 関連商品

## [高剛性タイプ]

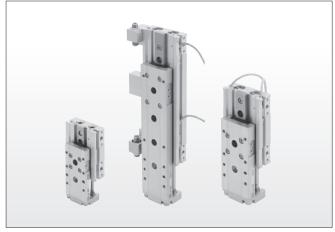


空圧シリンダ総合 I CB-029S

## リニアスライドシリンダ LCGシリーズ

- ●リニアガイドのテーブル面をそのままスライドテーブルに採用し、より高精度に
- ●ストッパの左右対称取付け、多面配管など、設計の 自由度、使いやすさが向上

## [軽量タイプ]



リニアスライドシリンダLCRシリーズ CC-996

## リニアスライドシリンダ LCRシリーズ

- ●アルミテーブル採用により最大で従来比10%軽量 化
- ●リニアガイドとスライドテーブルの高剛性化により、剛性アップを実現
- ●ストッパの左右対称形、多面配管、2面取付け、位置決め穴装備など、設計の自由度アップ
- ●口径はφ6~φ25の6種類

## お問合せは お近くの営業所へどうぞ

#### 北

●北上営業所 〒024-0034 岩手県北上市諏訪町2-4-26 FEL (0197) 63-4147 FAX (0197) 63-4186

●仙台営業所 〒984-0015 仙台市若林区卸町2-2-1 (パックス2・1階) TEL (022) 239-1851 FAX (022) 239-1856

●山形営業所

〒990-0834 山形県山形市清住町3-5-19 TEL (023) 644-6391 FAX (023) 644-7273

#### 北関東

●さいたま営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-297-2 (杉ビル6 5階) TEL (048) 652-3811 FAX (048) 652-3816

●茨城営業所

〒300-0847 茨城県土浦市卸町1-1-1 (関鉄つくばビル4階C) TEL (029) 841-7490 FAX (029) 841-7495

●宇都宮営業所

〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷3-1-7(NBF宇都宮ビル3階) TEL (028) 638-5770 FAX (028) 638-5790 ●太田営業所

- スローネデバ 〒373-0813 群馬県太田市内ケ島町946-2 (大槻総合ビル1階) TEL (0276) 45-8935 FAX (0276) 46-5628

#### 南関東

●東京営業所

〒105-0013 東京都港区浜松町1-31-1 (文化放送メディアプラス4階) TEL (03) 5402-3628 FAX (03) 5402-0122

●立川営業所 〒190-0022 東京都立川市錦町3-2-30 (朝日生命立川錦町ビル3階) TEL (042) 527-3773 FAX (042) 527-3782

- 千葉営業所 〒274-0825 千葉県船橋市前原西2-12-5 (朝日生命津田沼ビル5階) TEL (047) 470-5070 FAX (047) 493-5190

■構浜営業所

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-17-19 (日総第15ビル4階) TEL (045) 475-3471 FAX (045) 475-3470

●厚木営業所

〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲1212-3 TEL (046) 226-5201 FAX (046) 226-5208

〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1509

TEL (055) 224-5256 FAX (055) 224-3540

●車立支店

・ネスン | 〒105-0013 東京都港区浜松町1-31-1 (文化放送メディアプラス4階) | TEL (03) 5402-3620 | FAX (03) 5402-0120

## CKD株式会社

#### 北 陸・信 越

●長岡営業所

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-4-33 (高野不動産ビル2階) TEL (0258) 33-5446 FAX (0258) 33-5381

〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5945

TEL (0263) 25-0711 FAX (0263) 25-1334 ●富山営業所 〒939-8071 富山県富山市上袋100-35 TEL (076) 421-7828 FAX (076) 421-8402

●金沢営業所 〒920-0025 石川県金沢市駅西本町3-16-8 TEL(076) 262-8491 FAX(076) 262-8493

#### 海

●名古屋営業所 〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250 TEL (0568) 74-1371 FAX (0568) 77-3291

●豊田営業所

受出古来が 〒473-0912 愛知県豊田市広田町広田103 TEL (0565) 54-4771 FAX (0565) 54-4755

●静岡営業所

〒村22-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹1-3-5 TEL (054) 237-4424 FAX (054) 237-1945 ●浜松営業所 〒435-0016 浜松市東区和田町438

TEL (053) 463-3021 FAX (053) 463-4910 ●四日市営業所 〒512-1303 三重県四日市市小牧町字高山2800 TEL (059) 339-2140 FAX (059) 339-2144

●名古屋支店

〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250 TEL (0568) 74-1356 FAX (0568) 77-3317

●大阪営業所 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-3-20 TEL (06) 6459-5775 FAX (06) 6446-1955

●大阪東営業所

7570-0083 大阪府守口市京阪本通1-2-3 (損保ジャパン守口ビル6階) TEL (06) 4250-6333 FAX (06) 6991-7477

●滋賀営業所

〒524-0033 淡賀県宇山市浮気町字中ノ町300-21 (第2小島ビル4階)

TEL (077) 514-2650 FAX (077) 583-4198 )京都営業所 〒612-8414 京都市伏見区竹田段川原町35-3

TEL (075) 645-1130 FAX (075) 645-4747 ●奈良営業所 〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町460-15 (オッシェム・ロジナ1階) TEL (0743) 57-6831 FAX (0743) 57-6821

●神戸営業所

〒673-0016 兵庫県明石市松の内2-6-8 (西明石スポットビル3階) TEL (078) 923-2121 FAX (078) 923-0212

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-3-20 TEL (06) 6459-5770 FAX (06) 6446-1945

●広島営業所 〒730-0029 広島市中区三川町2番6号(くれしん広島ビル3階) TEL (082) 545-5125 FAX (082) 244-2010

●岡山営業所

〒700-0916 岡山県岡山市北区西之町10-104

TEL (0835) 38-3556 FAX (0835) 22-6371

〒747-0801 山口県防府市駅南町6-25

#### 兀

●高松営業所

〒761-8071 香川県高松市伏石町2158-10 TEL (087) 869-2311 FAX (087) 869-2318

●松山営業所 〒790-0053 愛媛県松山市竹原2-1-33 (サンライト竹原1階) TEL (089) 931-6135 FAX (089) 931-6139

#### 九

●福岡営業所

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-10-27 (アスティア博多ビル5階)

TEL (092) 473-7136 FAX (092) 473-5540 ●熊本営業所 〒869-1103 熊本県菊池郡菊陽町久保田2799-13 TEL (096) 340-2580 FAX (096) 340-2584

●本社・工場

本社・上場 〒485-851 愛知県小牧市応時2-250 TEL (0568) 77-1111 FAX (0568) 77-1123 ●営業本部

〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250 TEL (0568) 74-1303 FAX (0568) 77-3410

●海外事業太部

〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250 TEL (0568) 74-1338 FAX (0568) 77-3461

お客様技術相談窓口

フリーダイヤル 🔯 0120-771060 受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00 (土日、休日除く)

## CKD Corporation

☐ 2-250 Ouji Komaki, Aichi 485-8551, Japan ☐ PHONE +81-(0)568-74-1338 FAX +81-(0)568-77-3461

#### U.S.A

O.S.A.

CKD USA CORPORATION

●HEADQUARTERS

4080 Winnetka Avenue, Rolling Meadows, IL 60008 USA
PHONE 41-847-368-0539 FAX +1-847-788-0575

CINCINNATI OFFICE

- SAN ANTONIO OFFICE
- · SAN JOSE OFFICE

#### Europe

CKD EUROPE BRANCH
DE Fruittuinen 28 Hoofddorp 2132NZ The Netherlands
PHONE +31- (0) 23-5541490 FAX +31- (0) 23-5541491
CZECH OFFICE

- · UK OFFICE
- · GERMAN OFFICE

#### Malavsia

MAIAYSIA

M-CKD PRECISION SDN.BHD.

HEADQUARTERS

Lot No.6, Jalan Modal 23/2, Seksyen 23, Kawasan, MIEL,
Fasa 8, 40300 Shah Alam, Selangor Darul Ehsan, Malaysia
PHONE +60-(0)3-5541-1468 FAX +60-(0)3-5541-1533

JOHOR BAHRU OFFICE

- MELAKA OFFICE PENANG OFFICE

#### Thailand

Thailand

CKD THAI CORPORATION LTD.

SALES HEADQUARTERS-BANGKOK OFFICE

Suwan Tower, 14/1 Soi Saladaeng 1, North Sathorn Rd.,

Bangrak, Bangkok 10500 Thailand

PHONE +66-(0)2-267-6300 FAX +66-(0)2-267-6305

LAEMCHABANG OFFICE

- NAVANAKORN OFFICE
   EASTERN SEABORD OFFICE
   LAMPHUN OFFICE
- KORAT OFFICE · AMATANAKORN OFFICE

Singapore

CKD SINGAPORE PTE LTD.
705 Sims Drive #03-01/02, Shun Li Industrial Complex,
387384 Singapore
PHONE +65-6744-2623 FAX +65-6744-2486

#### Taiwan

台湾喜開理股份有限公司

Website http://www.ckd.co.jp/

#### China

- 南京事務所 (NANJING OFFICE)杭州事務所 (HANGZHOU OFFICE)

- 蘇州事務所 (SUZHOU OFFICE)北京事務所 (BEIJING OFFICE)
- ・天津事務所 (TIANJIN OFFICE) ・長春事務所 (CHANGCHUN OFFICE)

## Korea

## 改訂内容

· 仕様注記追加

本カタログに記載の製品及び関連技術は、外国為替及び外国貿易法のキャッチオール規制の対象となります。

本カタログに記載の製品及び関連技術を輸出される場合は、兵器・武器関連用途に使用されるおそれのないよう、ご留意ください。 The goods and their replicas, or the technology and software in this catalog are subject to complementary export regulations by Foreign Exchange and Foreign Trade Law of Japan.

If the goods and their replicas, or the technology and software in this catalog are to be exported, laws require the exporter to make sure they will never be used for the development or the manufacture of weapons for mass destruction.

- ●このカタログに掲載の仕様および外観を、改善のため予告なく変更することがあります。
- Specifications are subject to change without notice. © CKD Corporation 2010 All copy rights reserved.

China 喜開理 (上海) 機器有限公司 CKD(SHANGHAI)CORPORATION ●営業部上海事務所 (SALES HEADOUARTERS / SHANGHAI OFFICE) 中国上海市徐江区虹梅路1905号遠中科研大楼6楼601室 Room 601, Yuan Zhong Scientific Reseach Building, 1905 Hongmei Road, Shanghai, 200233, China PHONE +86-(0) 21-61911888 FAX +86-(0) 21-60905356 ・無錫事務所 (WUXI OFFICE)

- ・武漢事務所 (WUHAN OFFICE) ・青島事務所 (QINGDAO OFFICE)
- · 大連事務所 (DALIAN OFFICE)
  · 西安事務所 (XIAN OFFICE)
  · 重慶事務所 (CHONGQING OFFICE)
  · 成都事務所 (CHENGDU OFFICE)
- ・広州事務所 (GUANGZHOU OFFICE) ・深圳事務所 (SHENZHEN OFFICE)
- ・東莞事務所 (DONGGUAN OFFICE)
- CKD KOREA CORPORATION
  3rd FL, Sam Young B/D, 371-20
  Sinsu-Dong, Mapo-Gu, Seoul, 121-110, Korea
  PHONE +82-(0)2-783-5201~5203 FAX +82-(0)2-783-5204

2010.10.ACC